

I ま え が き

平成28年度の一般会計決算額は、歳入総額が6,148億3,300万円、歳出総額が6,109億9,100万円となり、歳入・歳出とも増となりました。

歳入総額については、前年度決算額と比較すると1.6%の増となっています。

これは、諸収入の減の一方で、市税や、京浜急行大師線連続立体交差事業に係る国庫補助金等の増による国庫支出金の増などによるものです。

歳出総額については、前年度決算額と比較すると1.4%の増となりました。

これは、王禅寺処理センター資源化処理施設建設工事の完了による環境費の減の一方で、民間保育所運営費の増によるこども未来費の増、京浜急行大師線連続立体交差事業費の増による建設緑政費の増、登戸地区土地区画整理事業費の増によるまちづくり費の増などによるものです。

また、歳入歳出差引額から、平成29年度への繰越事業に充当する繰越財源を差し引いた実質収支額、いわゆる剰余金は1億9,000万円となりました。

市税収入については、個人市民税における納税者数及び所得の増や、固定資産税における家屋の新增築などにより、4年連続の増収で3年連続の過去最高となりましたが、人口の増加や少子高齢化の進展などにより増大する行政需要に対応するため、当初予算に92億円計上していた減債基金からの新規借入を53億円に圧縮して行いました。これにより、借入の累計は169億円となっており、引き続き厳しい財政状況となっています。

このような状況においても、多様化する課題への的確な対応など、必要な施策・事業の着実な推進と、財政の健全化による持続可能な行財政基盤の構築の両立に向けた財政運営を進めてまいります。

以下、平成28年度決算のあらまし、並びに、平成29年度上半期予算執行のあらましについてご説明いたします。